

「災害から身を守るために ～ハザードマップを活用しよう～」

目 標

- ・ハザードマップを通して、自分たちの住む地域の特性を知る。
- ・自然災害に対する、防災の意識を高める。

コンピュータを活用する利点

校内ネットワークやインターネット上にあるデジタルコンテンツを活用することで、児童の学習意欲の向上とより発展的な新しい知識の習得や様々な考え方の理解を深めることができる。

ICT活用場面

- ・校内ネットワーク上にある学習コンテンツの中から、「台風の影響」についての映像を視聴する。
- ・Webサイト「兵庫県CGハザードマップ」の中から、必要なコンテンツを閲覧する。
- ・Web上のコンテンツの中で、小さな画像や映像がある場合は、プロジェクタの「拡大表示」機能を使って、拡大投影する。
- ・黒板にマグネットスクリーンを貼り付けることで、映像を見やすく、分かりやすく投影し、必要に応じてホワイトボードとしても活用する。

成果と課題

本時では、まず校内ネットワーク上にある台風による被害映像の動画コンテンツを視聴することで、台風による被害や影響を知り、自分の生活の中にも関わっていることをつかませることができた。また、Webサイト「兵庫県CGハザードマップ」にある校区周辺の各種ハザードマップを閲覧することで、自分たちの住む街の浸水情報、避難情報などの地域の状況を具体的に知り、自然災害が身近な問題であるととらえることができた。さらに、Webサイト「兵庫県CGハザードマップ」にあるコンテンツを視聴することで、防災に対する備えや日頃から防災に対する意識を高めていくことの大切さを感じることができた。

ただ、豊富にあるデジタルコンテンツの中から、子どもの実態に合わせて、どのコンテンツを視聴させるか、その取捨選択の難しさがあること。特に、映像コンテンツには、たくさんの情報が含まれているので、情報過多にならないよう気をつけなければならない。

ICT活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン1台、プロジェクタ、マグネットスクリーン
使用ソフト名	Media Player、Internet Explorer
使用教室	普通教室

授業の流れ

台風が接近したときに、私たちのくらしはどのような影響を受けるのかを思い出そう。
【動画コンテンツを視聴】

ハザードマップを使って、自然災害から身を守る方法を考えよう。

ハザードマップとは、なんだろう？
【ハザードマップを拡大投影】

ハザードマップ（洪水編）を使って学習をしよう。
【ハザードマップを拡大投影】

ハザードマップ（土砂編）を使って学習をしよう。
【ハザードマップを拡大投影】

災害から身を守るためには、どのようなことに気をつけていけばいいだろう。
【動画コンテンツを視聴】

